

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 竹の庵

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 08 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度と理解の活用	管理者やケアマネージャーは制度を理解しているが、職員全員が理解し、利用者や家族に説明出来る体制にしていく。	制度の資料やパンフレットを用意し、職員に理解してもらうための内部研修会を実施し、利用者や家族に、入居時や利用が必要になってきた方に対して、説明し活用出来る橋渡し等をしていく。	12ヶ月
2	14	人権教育、啓発活動	ミーティングや職員会議等で利用者の人権を尊重する話しは、日常的に実施しているが、研修記録、資料を用意していく。	外部研修を受けた職員による報告を兼ねた、内部研修を実施し、記録をし、職員全員が理解して、利用者の人権を守り、啓発活動に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。